

第5章 樹林調査

今回調査では、航空写真の樹冠投影面積が300㎡以上の樹木被覆地のうち、一敷地で構成されるもの、樹林の平均高さが3m以上で概ね30本以上で構成されているものを樹林として抽出した後、現地調査により補正を行った。これらの樹林について樹林形態、箇所、面積等の調査を行った。

なお、樹林の箇所数の数え方については、明らかに同一敷地内に複数の樹木群がある場合は1箇所と数えることとし、道路や番地によって分かれている場合は各敷地内で1箇所と数えることとした。また、樹林形態については表5-1の区分とする。

表5-1 樹林の形態区分

区 分	内 容
公 園	公園内にある樹林
屋敷林	戸建て住宅と一体となった屋敷内にある樹林 (集合住宅の敷地にあるものは含まない)
社寺林	神社、寺院の境内にある樹林
私立学校	私立小・中・高校、及び私立大学にある樹林
民間等のグラウンド	民間グラウンドにある樹林
雑木林	家屋等がなく敷地全体が樹林となるもの
公立学校	区立小・中学校、及び都立高校等の公立学校にある樹林
その他の公共施設	公園、公立学校以外の公共施設にある樹林
その他の民間施設	集合住宅、事務所、店舗等の民間施設にある樹林
竹 林	竹林としてまとまりのあるもの
その他	農地、未利用地等にある樹林

1 . 樹林の現況

区全体の300㎡以上の樹林は、1,145箇所、177.53haであった。

形態別の面積は表5-2に示したとおり公園が最も大きく62.94haで区全体樹林の35.45%を占めていた。次いで屋敷林の31.42haで17.70%、社寺林の22.48haで12.66%であった。この3区分で区内の樹林面積の約66%を占めている。また形態別の箇所数では、屋敷林の376箇所が最も多く、次に公園230箇所、その他の民間施設(集合住宅、事務所等)181箇所という結果であった。

表 5-2 形態別樹林現況

区分	箇所数	面積 (ha)	構成比 (%)	1箇所あたり面積 (ha/箇所)
公園	230	62.94	35.45	0.27
屋敷林	376	31.42	17.70	0.08
社寺林	89	22.48	12.66	0.25
私立学校	20	10.83	6.10	0.54
民間等のグラウンド	12	3.05	1.72	0.25
雑木林	13	2.66	1.50	0.20
公立学校	69	11.64	6.56	0.17
その他の公共施設	75	9.07	5.11	0.12
その他の民間施設	181	15.10	8.51	0.08
竹林	13	0.89	0.50	0.07
その他	67	7.45	4.20	0.11
区全体	1,145	177.53	100.00	0.16

構成比は小数第3位を四捨五入するため合計値が合わない場合がある。

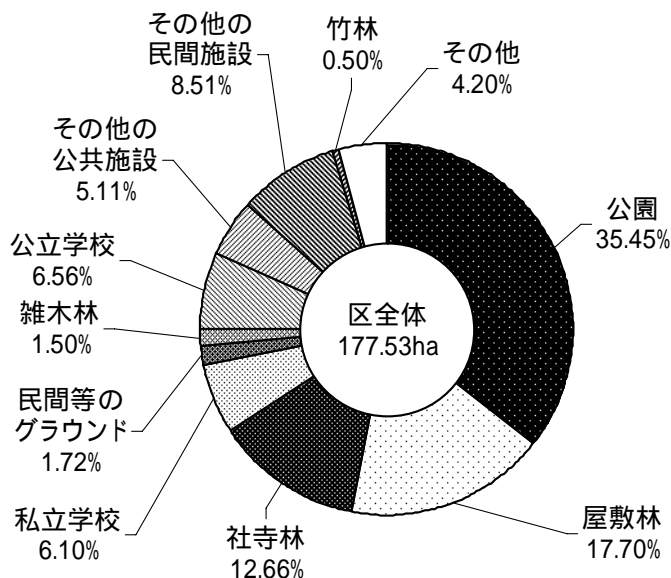


図 5-1 形態別樹林構成比

次に公園、公立学校、公共施設にある樹林の公的樹林と、屋敷林、社寺林、私立学校などにある私的樹林の状況を図 5-2 に示す。

公的樹林は 83.65ha で全体面積の 47.12%、私的樹林は 93.88ha で 52.88%となっている。

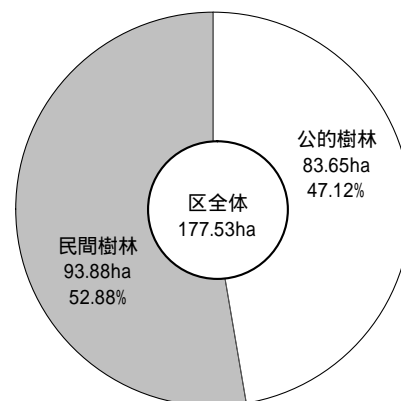
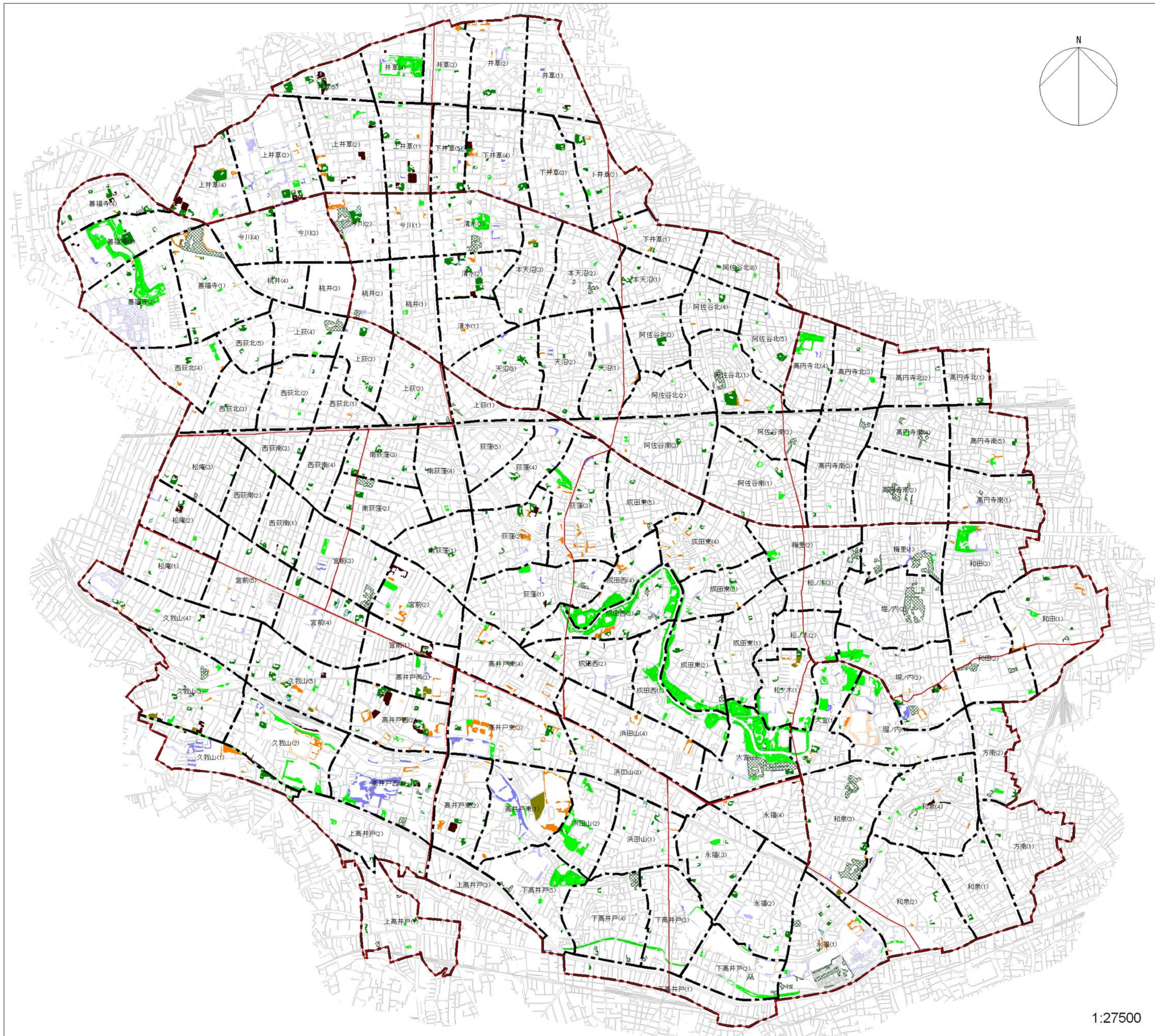
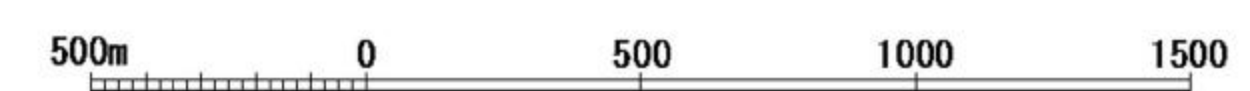


図 5-2 公私別樹林構成比



ゾーン区分図



1:27500

図5-3 樹林分布図

形態別規模別樹林現況は表 5-3、規模別樹林箇所数は図 5-4 に示すとおりである。300～500 m²未満が 415 箇所、15.88ha、500～1,000 m²未満が 343 箇所、23.89ha となっており、1,000 m²未満の箇所数が全体の約 66%、面積が全体の約 22%を占めている。

20,000 m²以上の規模の大きい樹林は公園、社寺、私立学校（大学）その他公共施設に分布しており、全体で 10 箇所、27.10ha であった。これらの樹林は本区のみどりの拠点となっている。

屋敷林やその他の民間施設では、規模の小さい樹林の箇所及び面積が共に多くなっている。屋敷林では 1,000 m²未満のものが 288 箇所あり、屋敷林全体の約 77%を占めている。しかし、3,000 m²～5,000 m²未満規模が 4 箇所、5,000 m²～10,000 m²未満規模が 4 箇所とかなり大きい屋敷林も残っていることが分かる。

表 5-3 形態別規模別樹林現況

樹林形態		300-500m ² 未満	500-1000m ² 未満	1000-2000m ² 未満	2000-3000m ² 未満	3000-5000m ² 未満	5000-10000m ² 未満	10000-20000m ² 未満	20000m ² 以上	合計
公園	箇所	58	60	51	10	21	15	9	6	230
	面積(ha)	2.30	4.18	7.01	2.57	7.91	11.08	12.82	15.07	62.94
屋敷林	箇所	157	131	62	18	4	4	0	0	376
	面積(ha)	5.93	9.01	8.55	4.15	1.31	2.47	0.00	0.00	31.42
社寺林	箇所	14	28	20	9	5	9	2	2	89
	面積(ha)	0.56	2.00	2.80	2.31	1.93	5.87	2.55	4.46	22.48
私立学校	箇所	9	3	1	2	0	2	2	1	20
	面積(ha)	0.35	0.28	0.18	0.52	0.00	1.24	3.25	5.01	10.83
民間等のグラウン	箇所	4	2	3	0	1	1	1	0	12
	面積(ha)	0.15	0.11	0.42	0.00	0.49	0.58	1.30	0.00	3.05
雑木林	箇所	0	6	5	0	1	0	1	0	13
	面積(ha)	0.00	0.45	0.63	0.00	0.32	0.00	1.26	0.00	2.66
公立学校	箇所	6	19	23	11	8	2	0	0	69
	面積(ha)	0.25	1.46	3.38	2.53	2.89	1.13	0.00	0.00	11.64
その他の公共施設	箇所	37	24	8	1	3	1	0	1	75
	面積(ha)	1.43	1.74	1.10	0.28	1.21	0.75	0.00	2.56	9.07
その他の民間施設	箇所	98	47	24	6	4	1	1	0	181
	面積(ha)	3.66	3.09	3.31	1.45	1.43	0.91	1.25	0.00	15.10
竹林	箇所	7	3	3	0	0	0	0	0	13
	面積(ha)	0.27	0.20	0.42	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.89
その他	箇所	25	20	11	5	6	0	0	0	67
	面積(ha)	0.98	1.37	1.57	1.19	2.34	0.00	0.00	0.00	7.45
区全体	箇所	415	343	211	62	53	35	16	10	1,145
	面積(ha)	15.88	23.89	29.37	15.00	19.83	24.03	22.43	27.10	177.53

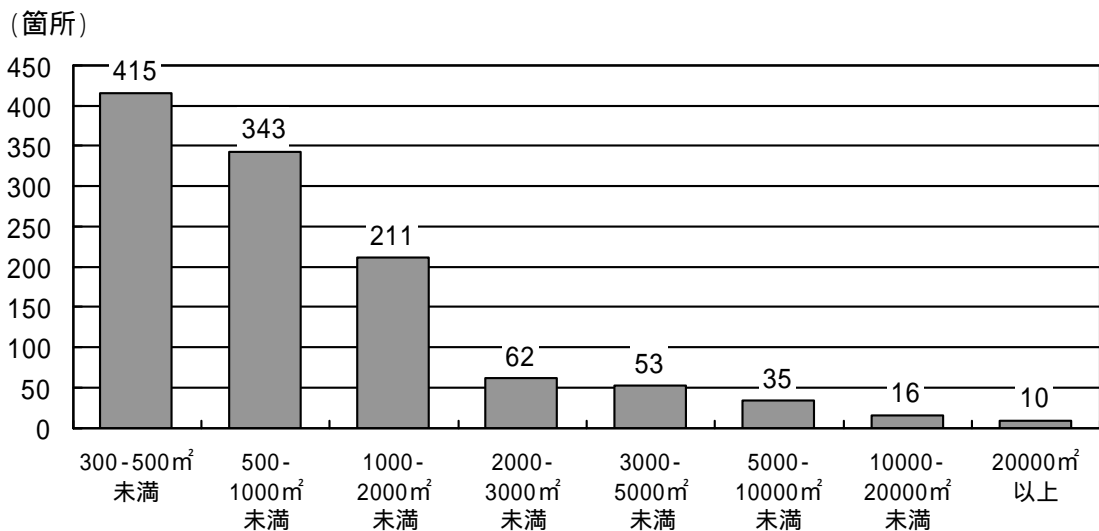


図 5-4 規模別樹林箇所数

2. ゾーン別の樹林現況

ゾーン別の樹林の現況は表 5-4 に示すとおり、最も面積が大きいのが成田ゾーン、次いで高井戸西ゾーン、西荻北ゾーンとなっている。成田ゾーンには都立善福寺川緑地や和田堀公園が位置しており、公園の樹林が 23.11ha と成田ゾーンの樹林面積の約 68% を占めている。高井戸西ゾーン、西荻北ゾーンでは公園の樹林も多いものの、高井戸西ゾーンでは屋敷林が 3.84ha、その他の公共施設（福祉施設等）の樹林が 3.74ha、西荻北ゾーンでは私立学校（大学）の樹林が 5.01ha を占めているのが特徴である。

一方樹林面積が最も少ないのは西荻南ゾーンで 3.03ha、次いで下井草ゾーン 4.83ha、高円寺ゾーン 4.84ha、阿佐谷ゾーン 5.21ha である。

樹林率が最も高いのは成田ゾーンの 10.28% で、次に高いのが上井草ゾーンの 7.62%、西荻北ゾーンの 6.62% であった。

表 5-4 ゾーン別形態別樹林現況

ゾーン名	ゾーン面積 (ha)	上段:箇所 下段:面積(ha)											樹林率 (%)	
		公園	屋敷林	社寺林	私立学校	民間等の グラウンド	雑木林	公立学校	その他の 公共施設	その他の 民間施設	竹林	その他		合計
上井草	153.40	10 3.04	27 3.78	0 0.00	1 0.04	0 0.00	0 0.00	6 1.51	9 0.49	8 0.59	1 0.04	16 2.20	78 11.69	7.62
下井草	152.00	8 0.52	23 2.26	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	3 0.57	7 0.34	9 0.76	1 0.12	2 0.26	53 4.83	3.18
西荻北	318.10	19 6.87	53 4.12	6 3.28	1 5.01	0 0.00	0 0.00	5 0.48	2 0.17	16 0.93	0 0.00	4 0.19	106 21.05	6.62
西荻南	138.50	5 0.47	19 1.73	1 0.08	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.25	3 0.17	0 0.00	1 0.04	4 0.29	35 3.03	2.19
荻窪北	253.10	13 1.70	20 2.44	12 2.28	2 0.85	0 0.00	1 0.11	4 0.45	6 0.35	11 0.86	2 0.22	3 0.24	74 9.50	3.75
荻窪南	289.50	11 2.36	38 2.80	6 1.45	0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 0.73	5 0.26	18 1.57	3 0.20	6 1.06	92 10.43	3.60
阿佐谷	236.30	12 0.85	27 2.88	3 0.53	0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 0.38	1 0.04	9 0.53	0 0.00	0 0.00	57 5.21	2.20
成田	328.70	48 23.11	38 2.25	7 2.87	2 0.65	2 0.07	4 0.35	8 1.85	3 0.29	31 2.18	0 0.00	4 0.16	147 33.78	10.28
高円寺	213.10	8 1.93	7 0.49	10 1.60	0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 0.50	1 0.08	5 0.20	0 0.00	1 0.04	37 4.84	2.27
和田・堀ノ内	190.00	10 3.47	6 0.32	13 4.17	4 0.53	0 0.00	0 0.00	3 0.64	5 0.34	8 0.60	0 0.00	0 0.00	49 10.07	5.30
高井戸西	371.40	30 5.14	49 3.84	6 0.75	3 1.62	3 0.58	6 0.81	6 1.17	15 3.74	27 2.72	3 0.16	16 2.10	164 22.63	6.09
高井戸東	264.70	22 6.56	26 1.62	6 0.91	2 0.09	2 0.29	1 1.27	4 0.89	9 2.05	16 2.96	1 0.04	3 0.43	92 17.11	6.46
永福	195.20	14 2.11	14 0.95	8 1.44	2 1.88	3 0.23	1 0.12	5 1.12	3 0.13	12 0.58	1 0.07	1 0.04	64 8.67	4.44
方南・和泉	298.00	20 4.81	29 1.94	11 3.12	3 0.16	2 1.88	0 0.00	8 1.10	6 0.62	11 0.62	0 0.00	7 0.44	97 14.69	4.93
区全体	3,402.00	230 62.94	376 31.42	89 22.48	20 10.83	12 3.05	13 2.66	69 11.64	75 9.07	181 15.10	13 0.89	67 7.45	1,145 177.53	5.22

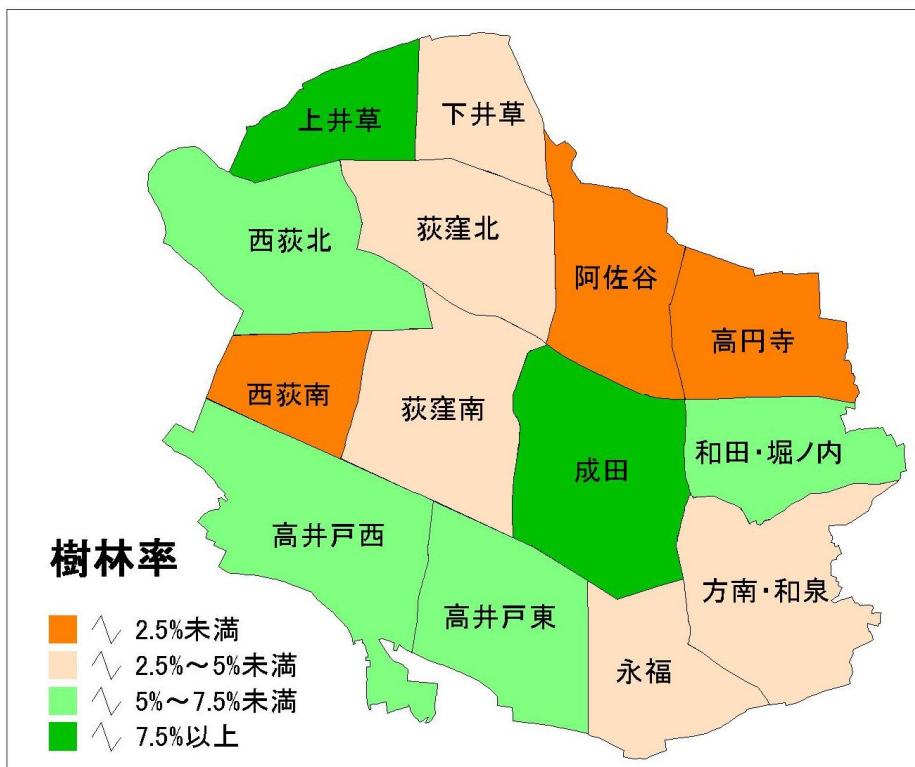


図 5-5 ゾーン別樹林率

3 . 樹林の推移

樹林の推移を図 5-6 に示す。

樹林の定義については、前回調査では緑被調査結果より、樹木被覆地の樹冠投影面積が 300 m²以上のものを全て樹林としたが、今回調査では住宅地などの敷地をまたがって広がる樹木被覆地は樹林とはみなさず、一敷地で樹冠投影面積が 300 m²以上の樹木被覆地を樹林とした。さらに低木植栽の中に高木が数本あるなど、樹林の平均高さが 3 m 未満のものも樹林とはみなさないこととした。また街路樹については帯状に 300 m²以上の規模があっても樹林とはしないこととした。このように今回調査では樹林の条件を保護指定要件に絞ったことによって、前回調査結果から樹林の箇所数及び面積がかなり少なくなっている。

今回の緑被調査結果から、前回調査と同様の樹林の定義を用いて樹林の箇所、面積を求めると、2,700 箇所、350.81ha となった。箇所については緑被地を機械的に自動抽出しているため、樹冠のつながりが少しでもあれば 1 図形として数えられるため、前回調査と比較して少なくなっていると考えられる。面積については 17.90ha の減少である。緑被調査の樹木被覆地の減少からも分かるように、実際に前回の樹木被覆地と今回の樹木被覆地について目視確認を行うと、まとまりのある樹木被覆地はかなり減少が認められることから、同一条件の集計においても、樹林面積は減少していると推察される。

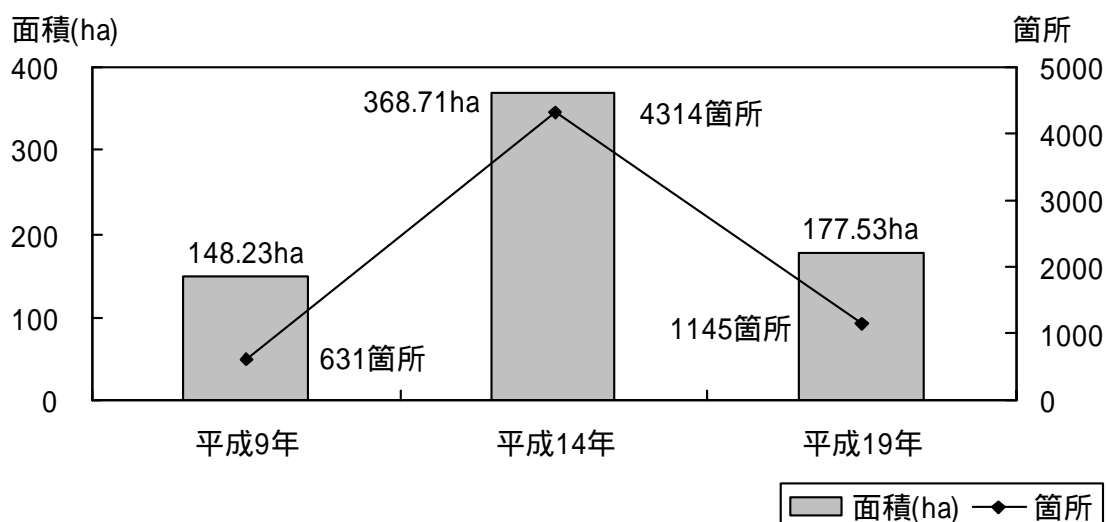


図 5-6 樹林面積と箇所の推移

樹林規模別の推移は表 5-5 のとおりである。平成 14 年度調査と今回調査では樹林の抽出基準が大きく異なるため、平成 9 年度調査との比較を行った。

平成 9 年度調査との比較では樹林規模が 300 ~ 500 m²未満では 323 箇所、500

～1,000㎡未満では147箇所の増加であり、面積規模が小さいほど増加が大きいが、今回調査では敷地単位で箇所数を数えているため、特に規模の小さい樹林地で箇所数が増えたものと思われる。

表 5-5 樹林規模別の推移

樹林規模	単位:箇所			
	平成9年	平成14年	平成19年	H19-H9
300-500㎡未満	92	1,998	415	323
500-1000㎡未満	196	1,359	343	147
1000-2000㎡未満	178	589	211	33
2000-3000㎡未満	65	157	62	3
3000-5000㎡未満	52	102	53	1
5000-10000㎡未満	24	71	35	11
10000-20000㎡未満	14	25	16	2
20000㎡以上	10	13	10	0
区全体	631	4,314	1,145	514

樹林の形態別の推移を表 5-6 に示す。箇所の数え方については、調査年度によって異なり比較対象となりにくいため、面積での比較を行うこととする。

面積の減少がみられるのは、屋敷林、社寺林、民間等のグラウンド、雑木林等の私的樹林地である。民間等のグラウンドについては、一部区の遊び場になったものがあるため、減少分が全て樹林の消失という訳ではないが、屋敷林では平成9年度からは約10haの減少、社寺林では約3ha、雑木林は約2haの減少であった。一方、公園の樹林は、公園の新設や拡張に伴って増加している。

表 5-6 形態別樹林箇所と面積の推移

区分	平成9年		平成14年		平成19年	
	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)	箇所	面積(ha)
公園	130	45.66	313	54.77	230	62.94
屋敷林	287	42.08	3,456	237.45	376	31.42
社寺林	60	25.13	103	22.84	89	22.48
私立学校	15	7.85	78	13.64	20	10.83
民間等のグラウンド	16	6.10	14	5.23	12	3.05
雑木林	26	4.47	22	3.85	13	2.66
公立学校	23	3.15	82	18.10	69	11.64
その他の公共施設	13	1.79	225	9.22	75	9.07
その他の民間施設	-	-	10	0.14	181	15.10
竹林	11	0.92	8	0.42	13	0.89
その他	50	11.08	3	3.05	67	7.45
区全体	631	148.23	4,314	368.71	1,145	177.53

ゾーン別の樹林面積の推移は表 5-7 に示すとおりである。平成 9 年度調査と比較すると、ほとんどのゾーンにおいて樹林率は増加しているが、下井草ゾーン、荻窪南ゾーン、阿佐谷ゾーンでは減少していた。

表 5-7 ゾーン別樹林面積の推移

ゾーン名	平成9年		平成14年		平成19年	
	面積(ha)	樹林率(%)	面積(ha)	樹林率(%)	面積(ha)	樹林率(%)
上井草	8.98	5.85	23.27	15.17	11.69	7.62
下井草	4.93	3.24	14.10	9.28	4.83	3.18
西荻北	17.48	5.50	37.54	11.80	21.05	6.62
西荻南	2.61	1.88	10.20	7.36	3.03	2.19
荻窪北	8.11	3.20	19.38	7.66	9.50	3.75
荻窪南	10.48	3.62	31.90	11.02	10.43	3.60
阿佐谷	6.91	2.92	12.68	5.37	5.21	2.20
成田	29.80	9.07	64.60	19.65	33.78	10.28
高円寺	4.53	2.13	9.50	4.46	4.84	2.27
和田・堀ノ内	8.94	4.71	18.93	9.96	10.07	5.30
高井戸西	17.77	4.78	47.07	12.67	22.63	6.09
高井戸東	12.43	4.70	32.98	12.46	17.11	6.46
永福	3.84	1.97	17.55	8.99	8.67	4.44
方南・和泉	11.42	3.83	29.01	9.73	14.69	4.93
区全体	148.23	4.36	368.71	10.84	177.53	5.22